

別紙②

I. 和泉市の高齢者等の状況	P1 ~ P2
II. 地域包括支援センターの活動状況について	
II-1. 令和6年度12月末時点 地域包括支援センターの活動について	P3 ~ P13
II-2. 令和6年度12月末時点 基幹型地域包括支援センターの活動について	P14 ~ P15
II-3. 令和6年度12月末時点 認知症機能強化型地域包括支援センターの活動状況について	P16 ~ P17
II-4. 令和6年度12月末時点 生活支援コーディネーター事業の活動状況について	P18 ~ P23

I. 和泉市の高齢者等の状況

各年度3月末現在

1. 生活圏域別高齢者人口と高齢化率

資料：和泉市住民登録人口調

(1) 65歳以上人口

(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
圏域1	10,262	10,257	10,227
圏域2	13,144	13,256	13,392
圏域3	11,156	11,401	11,622
圏域4	12,760	12,801	12,757
男女計	47,322	47,715	47,998

(2) 高齢化率（人口に対する65歳以上高齢者の割合）

(%)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
圏域1	信太	30.4	30.6	30.7
	富秋	30.7	31.3	31.0
圏域2	郷荘	27.1	27.6	28.0
	和泉	24.7	25.0	25.1
圏域3	郷荘	29.1	29.6	30.6
	石尾	20.1	20.5	20.8
	北池田	23.7	24.5	25.1
圏域4	光明台	29.4	30.1	30.4
	南松尾はつが野	20.5	20.4	19.7
	南池田	21.7	21.2	20.9
	槇尾	40.8	41.4	41.3
計		25.8	26.1	26.3

圏域1
= 30.8%圏域2
= 26.4%圏域3
= 23.4%圏域4
= 26.0%

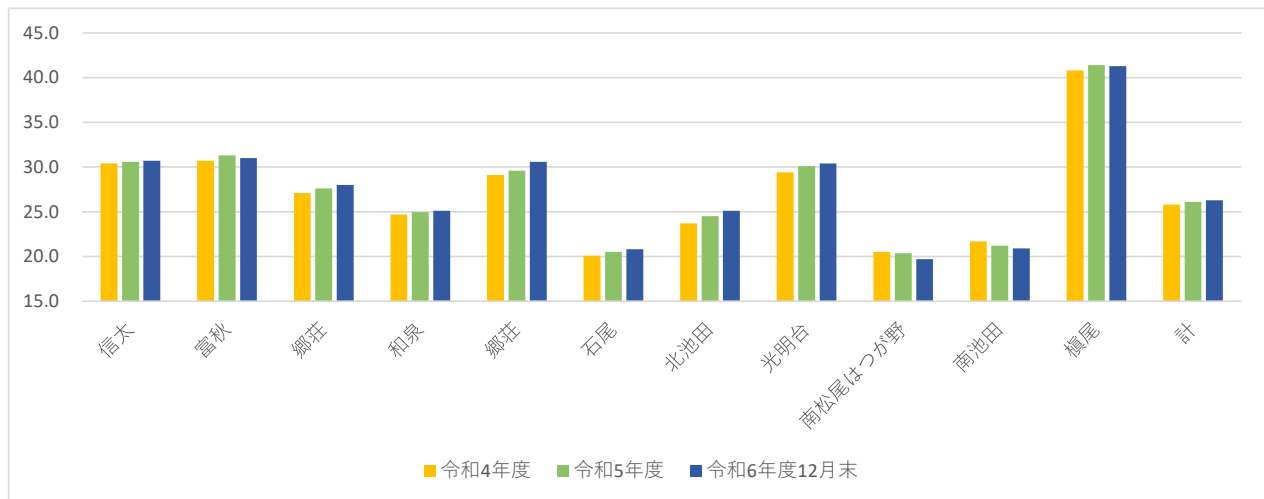
(3) 75歳以上の割合

(%)

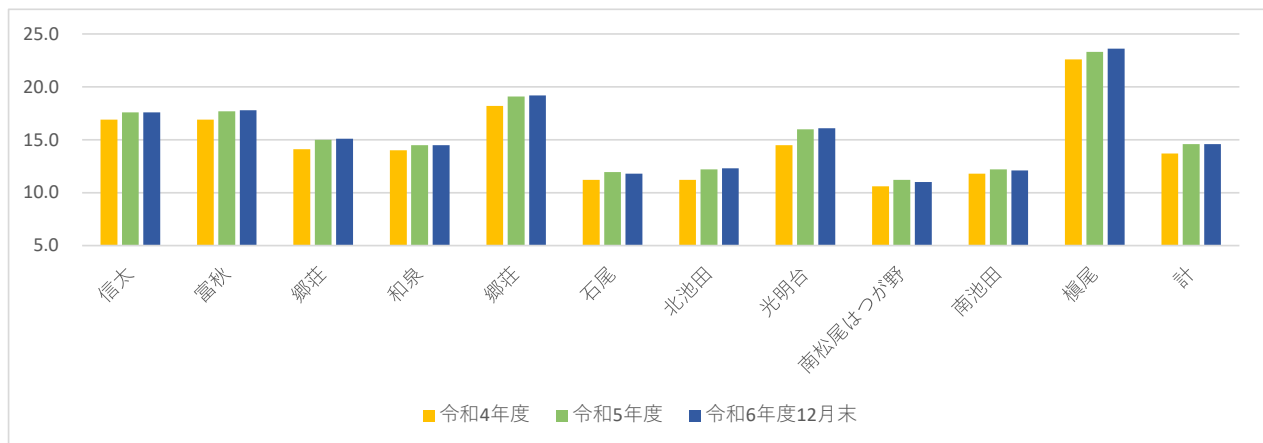
		令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
圏域1	信太	16.9	17.6	17.6
	富秋	16.9	17.7	17.8
圏域2	郷荘	14.1	15.0	15.1
	和泉	14.0	14.5	14.5
圏域3	郷荘	18.2	19.1	19.2
	石尾	11.2	12.0	11.8
	北池田	11.2	12.2	12.3
圏域4	光明台	14.5	16.0	16.1
	南松尾はつが野	10.6	11.2	11.0
	南池田	11.8	12.2	12.1
	槇尾	22.6	23.3	23.6
計		13.7	14.6	14.6

圏域1
= 17.7%圏域2
= 14.8%圏域3
= 12.4%圏域4
= 14.5%

高齢化率



75歳以上高齢者の割合



分析など

- 高齢者数
第1圏域・第4圏域では減少傾向、第2圏域・第3圏域は増加傾向。市全体としては増加傾向。
- 高齢化率
全国：29.1%（R5.10.1時点）、大阪府下平均：27.7、和泉市は若い世代の人口流入等もあり、比較的若い。
- 経年比較
高齢化率は毎年右肩上がり。特に、後期高齢者の比率が大きくなっているが、今年度は現状特に変化なし。
- 地域差
槇尾中学校区は高齢化率が40%を超え、第1圏域の信太、富秋、第2圏域の郷荘、第4圏域の光明台が30%程度となっており、地域によって高齢化率が様々な状況。

Ⅱ. 地域包括支援センターの活動状況について

Ⅱ-1. 令和6年度12月末時点 地域包括支援センターの活動について

1. 総合相談支援業務

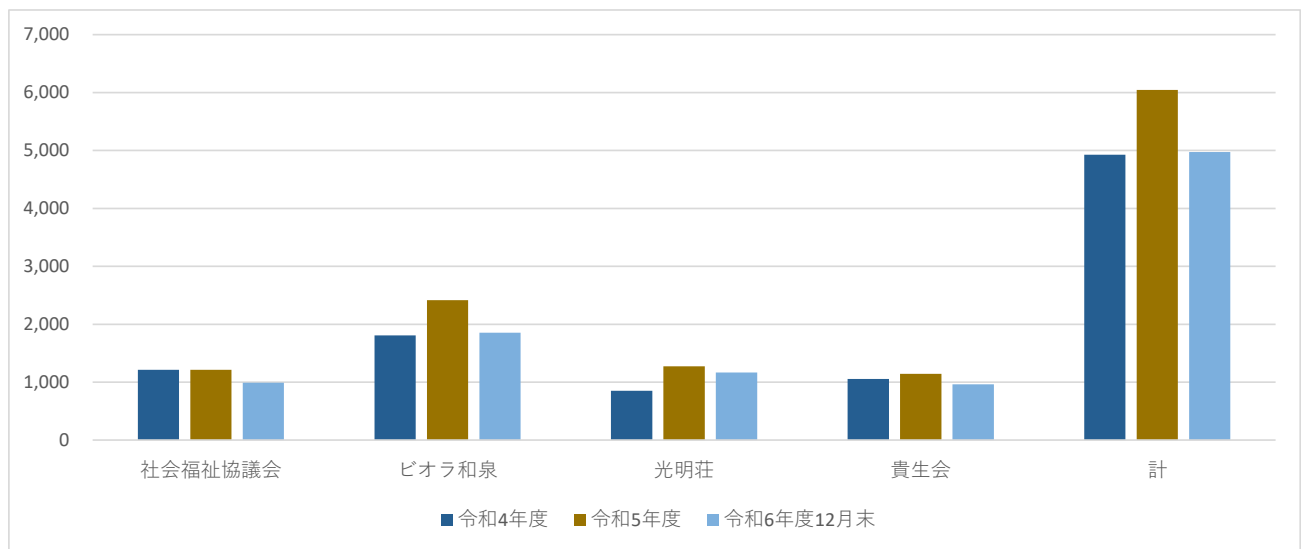
(1) 相談件数 (延)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	1,212 件	1,214 件	992 件
ピオラ和泉	1,807 件	2,415 件	1,853 件
光明荘	850 件	1,273 件	1,168 件
貴生会	1,057 件	1,145 件	962 件
計	4,926 件	6,047 件	4,975 件

(2) 相談件数 令和6年度12月末 内訳(延)

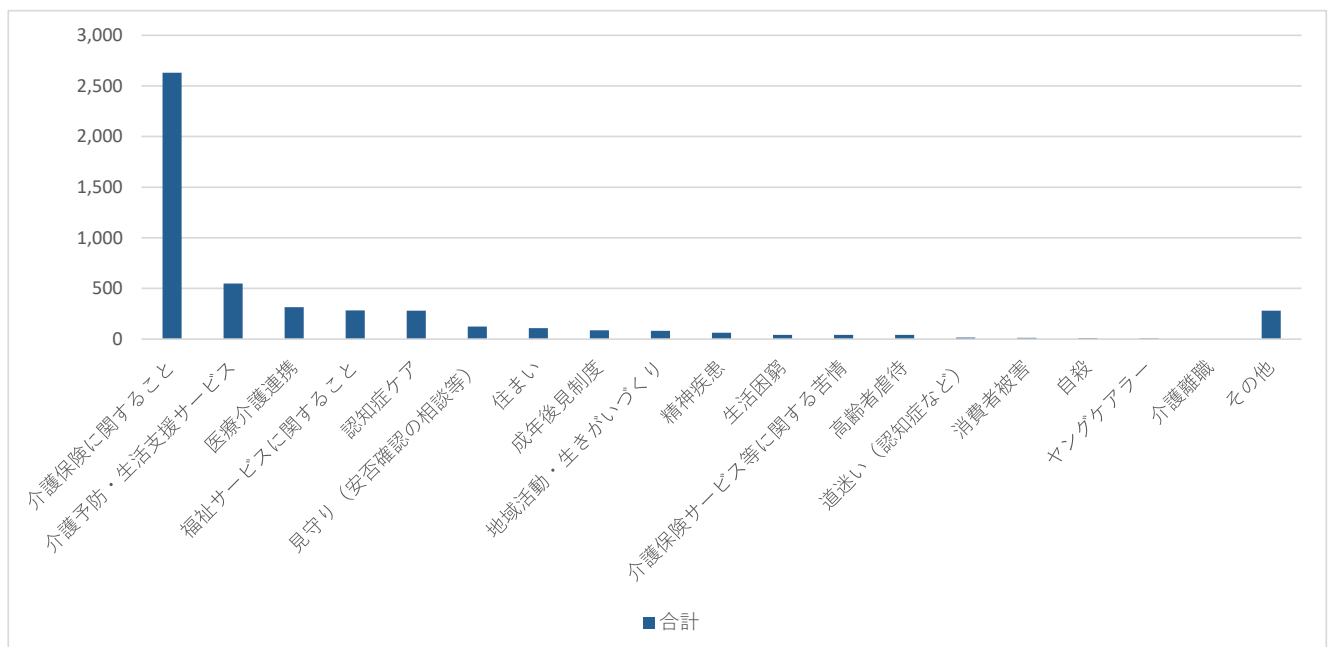
	社会福祉協議会	ピオラ和泉	光明荘	貴生会	合計
介護保険に関すること	571 件	862 件	629 件	569 件	2,631 件
介護予防・生活支援サービス	83 件	372 件	75 件	18 件	548 件
医療介護連携	83 件	102 件	86 件	45 件	316 件
福祉サービスに関すること	56 件	143 件	44 件	40 件	283 件
認知症ケア	44 件	117 件	74 件	45 件	280 件
見守り（安否確認の相談等）	24 件	52 件	14 件	33 件	123 件
住まい	34 件	28 件	15 件	32 件	109 件
成年後見制度	17 件	26 件	19 件	24 件	86 件
地域活動・生きがいづくり	2 件	41 件	30 件	9 件	82 件
精神疾患	13 件	13 件	23 件	15 件	64 件
生活困窮	12 件	13 件	8 件	10 件	43 件
介護保険サービス等に関する苦情	2 件	4 件	11 件	25 件	42 件
高齢者虐待	4 件	11 件	16 件	10 件	41 件
道迷い（認知症など）	1 件	4 件	3 件	8 件	16 件
消費者被害	0 件	5 件	3 件	5 件	13 件
自殺	7 件	0 件	4 件	0 件	11 件
ヤングケアラー	1 件	1 件	4 件	0 件	6 件
介護離職	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
その他	38 件	59 件	110 件	74 件	281 件
計	992 件	1,853 件	1,168 件	962 件	4,975 件

相談件数



- 高齢者が増加していることから、相談件数は基本的に右肩上がり。
- ピオラ圏域の相談ケースが非常に多くなっているが、ピオラ包括は地域に出向くことも多く、相談を受ける機会が多いと思われる。

相談内訳



- 医療介護連携の相談件数が多くなってきている。施策が推進できていることも要因だと考えられる。
- 認知症ケアの相談も増加している。今年度から各包括に認知症地域支援推進員を0.5人ずつ配置しており、より認知症施策の推進を図っていく。
- 成年後見制度の相談件数なども徐々に多くなってきており、市民後見人等の育成なども求められる。令和6年10月より、新たに成年後見中核機関を設置しており、成年後見制度の周知及び市民後見人等の育成等に取り組んでいく。和泉市社会福祉協議会へ委託。

3.介護予防普及啓発業務

(1) 介護予防の普及啓発件数(延)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	一日講座	0 件	7 件	0 件
	シリーズ講座	0 回	2 回	0 回
ピオラ和泉	一日講座	5 件	10 件	4 件
	シリーズ講座	5 回	9 回	9 回
光明荘	一日講座	1 件	1 件	1 件
	シリーズ講座	2 回	5 回	2 回
貴生会	一日講座	3 件	5 件	3 件
	シリーズ講座	3 回	1 回	0 回
計	一日講座	9 件	23 件	8 件
	シリーズ講座	10 回	17 回	11 回

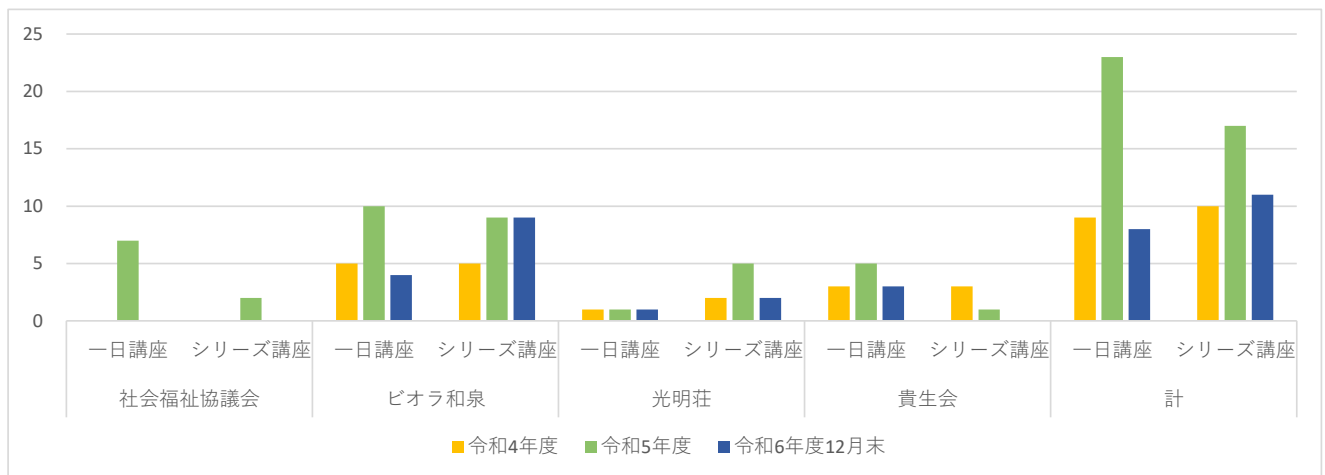
4.介護予防ケアマネジメント業務

(1) 総合事業対象者プラン作成件数(新規)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	18 件	20 件	22 件
ピオラ和泉	16 件	28 件	25 件
光明荘	13 件	27 件	14 件
貴生会	10 件	26 件	25 件
計	57 件	101 件	86 件

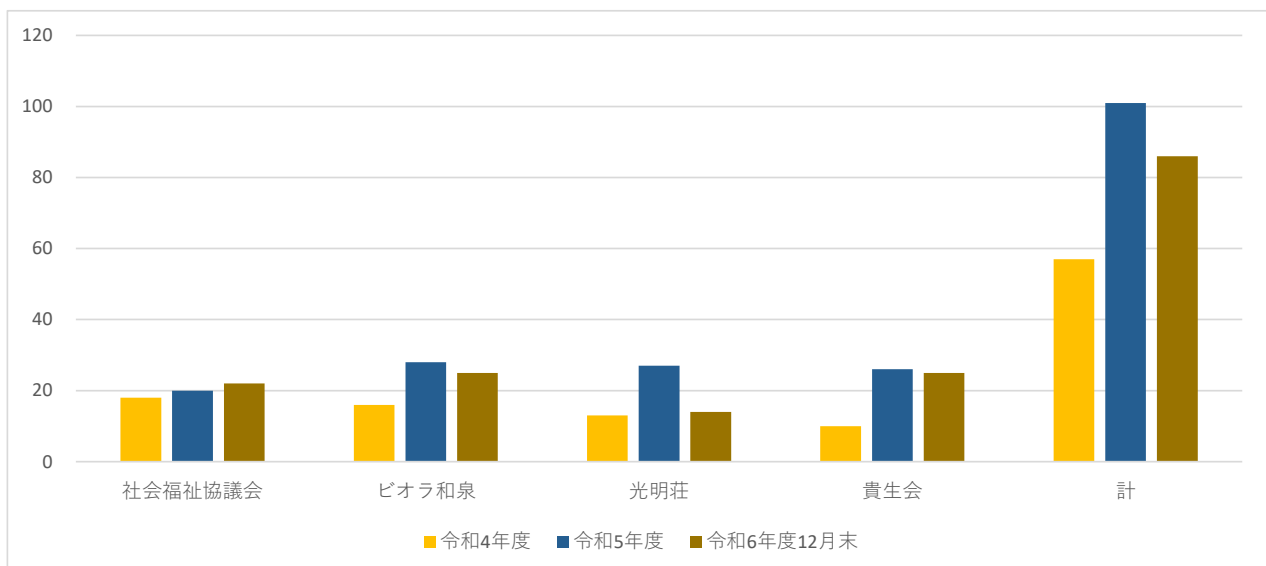
●総合事業の多様なサービスである、はつらつ教室、おたがいさまサポーター事業、移動支援サービス事業を利用するにあたり作成するケアプラン

介護予防の普及啓発件数



●昨年度はコロナ禍の後、地域活動を再開していることから、シリーズ講座の件数が増えてきていたが、今年度は昨年度に比べ減少している。
⇒引き続き、地域での介護予防に取り組んでもらえるよう、周知を実施していく。

総合事業対象者プラン作成件数



●令和5年度も貴生会圏域にて移動支援サービスの団体が2団体立ち上がり、増加している。
●ピオラ和泉については、はつらつ教室へつなぐケースが多い。
⇒はつらつ教室の利用を推進し、介護保険を利用せず元気になってもらうケースを増やしていく。

(2) 要支援者

①プラン作成件数（新規・更新）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	包括	190 件	175 件	97 件
	委託	662 件	735 件	503 件
	委託率	77.7 %	80.8 %	83.8 %
ピオラ和泉	包括	82 件	31 件	7 件
	委託	986 件	805 件	517 件
	委託率	92.3 %	96.3 %	98.7 %
光明荘	包括	48 件	73 件	94 件
	委託	1,001 件	1,019 件	669 件
	委託率	95.4 %	93.3 %	87.7 %
貴生会	包括	58 件	81 件	40 件
	委託	1,076 件	1,080 件	455 件
	委託率	94.9 %	93.0 %	91.9 %
計	包括	378 件	360 件	238 件
	委託	3,725 件	3,639 件	2,144 件
	委託率	90.8 %	91.0 %	90.0 %

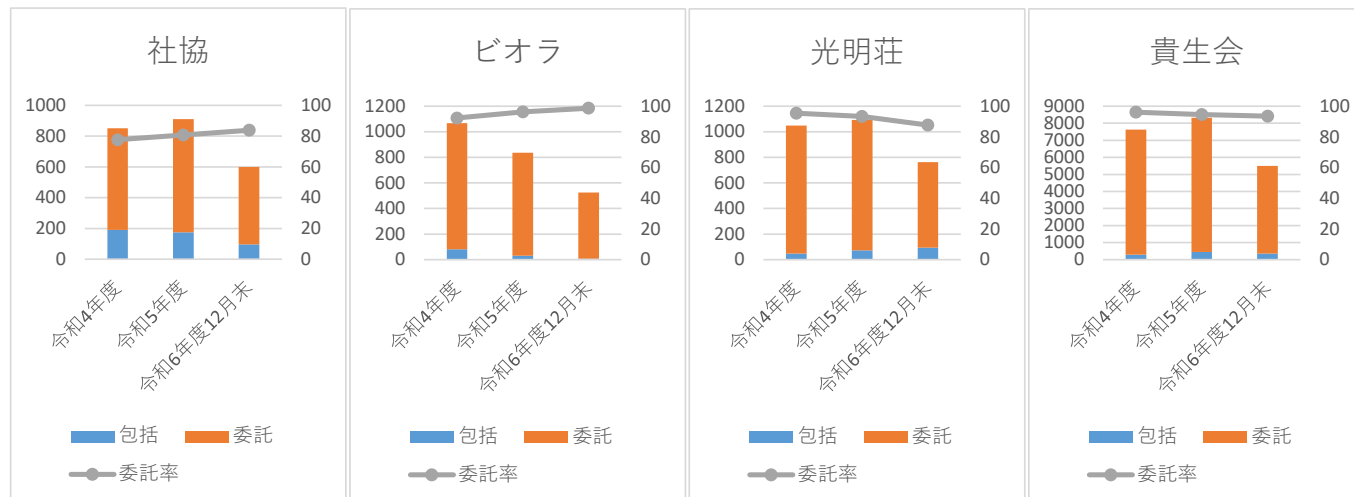
②給付管理件数（延）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	包括	1,584 件	1,628 件	1,223 件
	委託	4,448 件	4,640 件	3,482 件
	委託率	73.7 %	74.0 %	74.0 %
ピオラ和泉	包括	697 件	350 件	17 件
	委託	7,296 件	7,551 件	5,962 件
	委託率	91.3 %	95.6 %	99.7 %
光明荘	包括	419 件	355 件	391 件
	委託	5,672 件	6,215 件	4,695 件
	委託率	93.1 %	94.6 %	92.3 %
貴生会	包括	300 件	454 件	357 件
	委託	7,325 件	7,870 件	5,142 件
	委託率	96.1 %	94.5 %	93.5 %
計	包括	3,000 件	2,787 件	1,988 件
	委託	24,741 件	26,276 件	19,281 件
	委託率	89.2 %	90.4 %	90.7 %

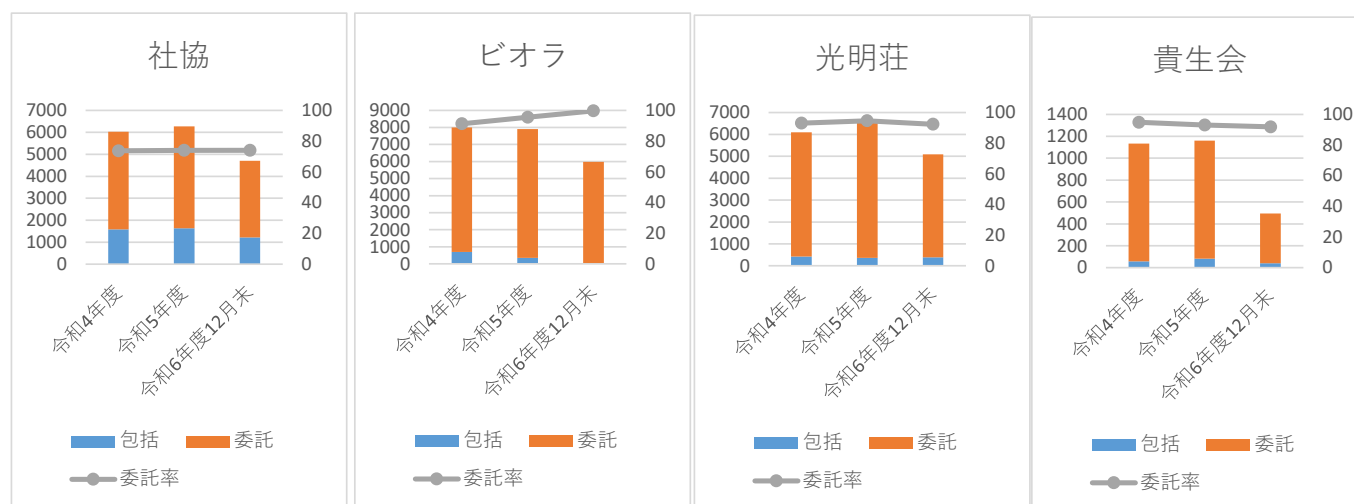
③評価件数：目標に対する効果評価件数（延）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	実人数	124 人	106 人	91 人
	改善	41.2 %	40.3 %	39.6 %
	維持	39.5 %	44.9 %	36.8 %
	悪化	19.3 %	14.8 %	23.6 %
ピオラ和泉	実人数	114 人	58 人	5 人
	改善	36.8 %	60.2 %	33.3 %
	維持	47.4 %	25.0 %	0.0 %
	悪化	15.8 %	14.8 %	66.7 %
光明荘	実人数	77 人	59 人	71 人
	改善	50.0 %	35.3 %	36.4 %
	維持	35.4 %	39.7 %	33.8 %
	悪化	14.6 %	25.0 %	29.8 %
貴生会	実人数	41 人	67 人	46 人
	改善	45.3 %	22.4 %	24.5 %
	維持	34.0 %	56.5 %	43.4 %
	悪化	20.8 %	21.2 %	32.1 %

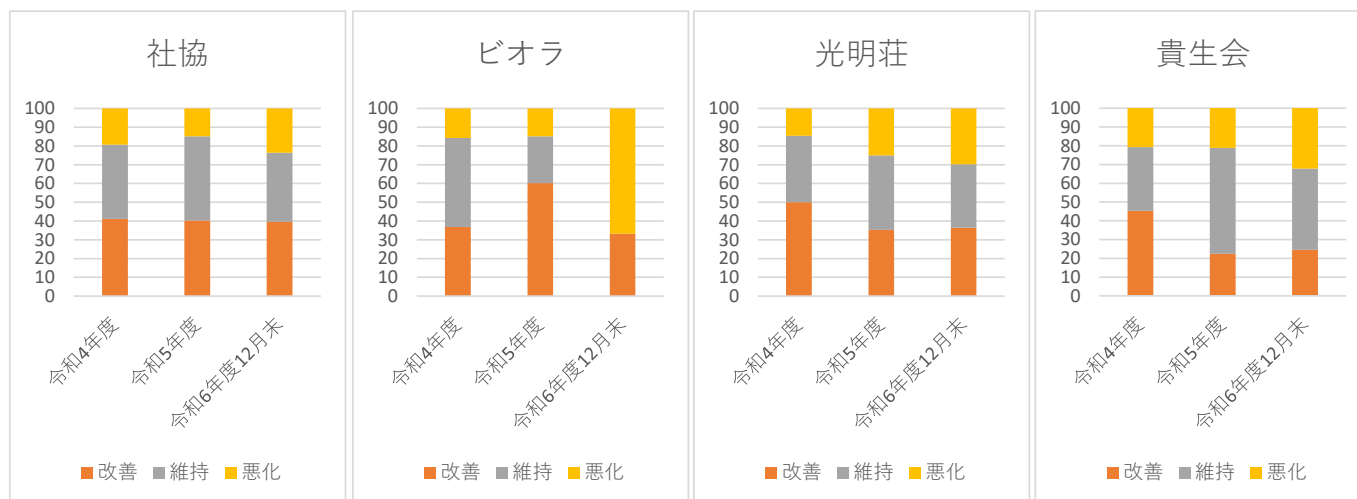
①プラン作成件数（新規・更新）



②給付管理件数（延）



③評価件数：目標に対する効果評価件数（延）



●新規、給付管理共に多くのプランを民間の居宅介護支援事業所へ再委託を行っている状況（約9割が再委託）。

⇒包括業務として相談ケースの増加や多様化、地域への各種事業の普及啓発活動などの必要性の増加など、多くの事業があることから包括によるプラン作成が困難になってきている。国の制度としても民間の居宅事業所へ直接依頼することがR6年度より可能となっている。

5. 権利擁護業務（延）

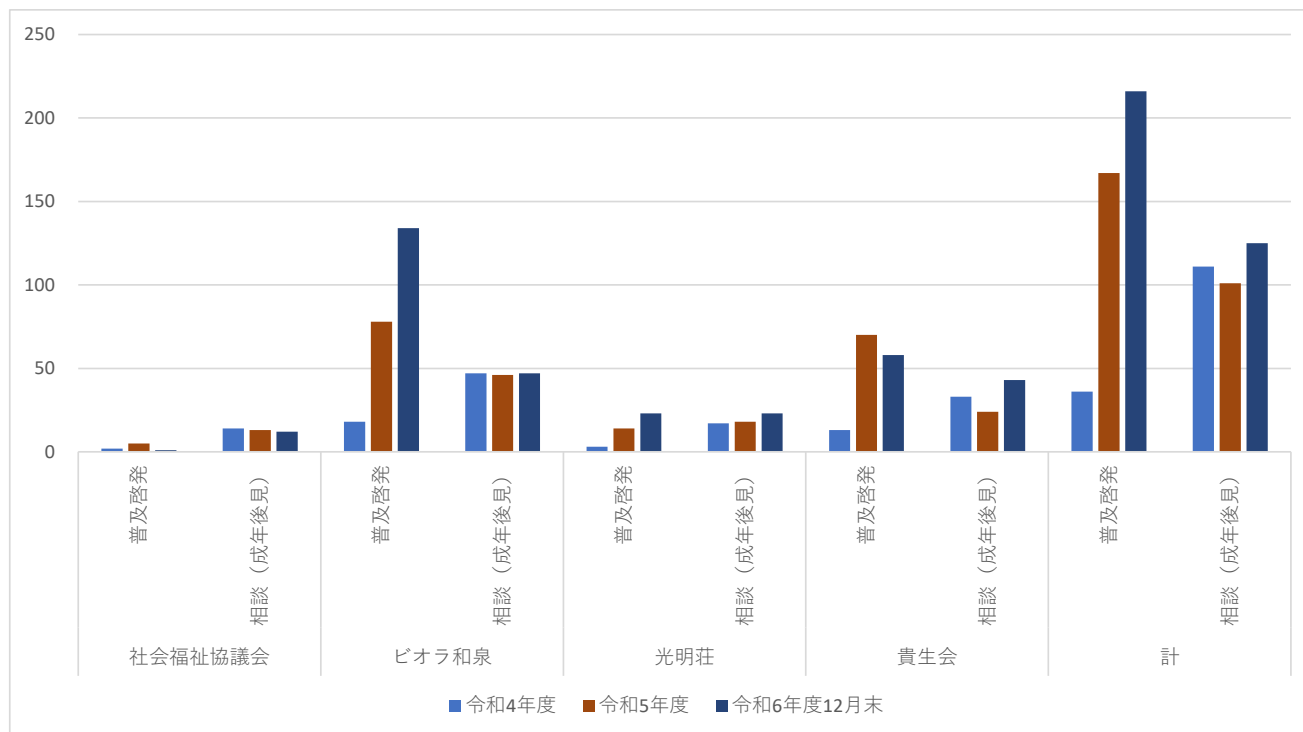
		令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	普及啓発	2 件	5 件	1 件
	相談（成年後見）	14 件	13 件	12 件
ピオラ和泉	普及啓発	18 件	78 件	134 件
	相談（成年後見）	47 件	46 件	47 件
光明荘	普及啓発	3 件	14 件	23 件
	相談（成年後見）	17 件	18 件	23 件
貴生会	普及啓発	13 件	70 件	58 件
	相談（成年後見）	33 件	24 件	43 件
計	普及啓発	36 件	167 件	216 件
	相談（成年後見）	111 件	101 件	125 件

※参考「虐待通報受理件数」の虐待種別内訳について（単位：件）

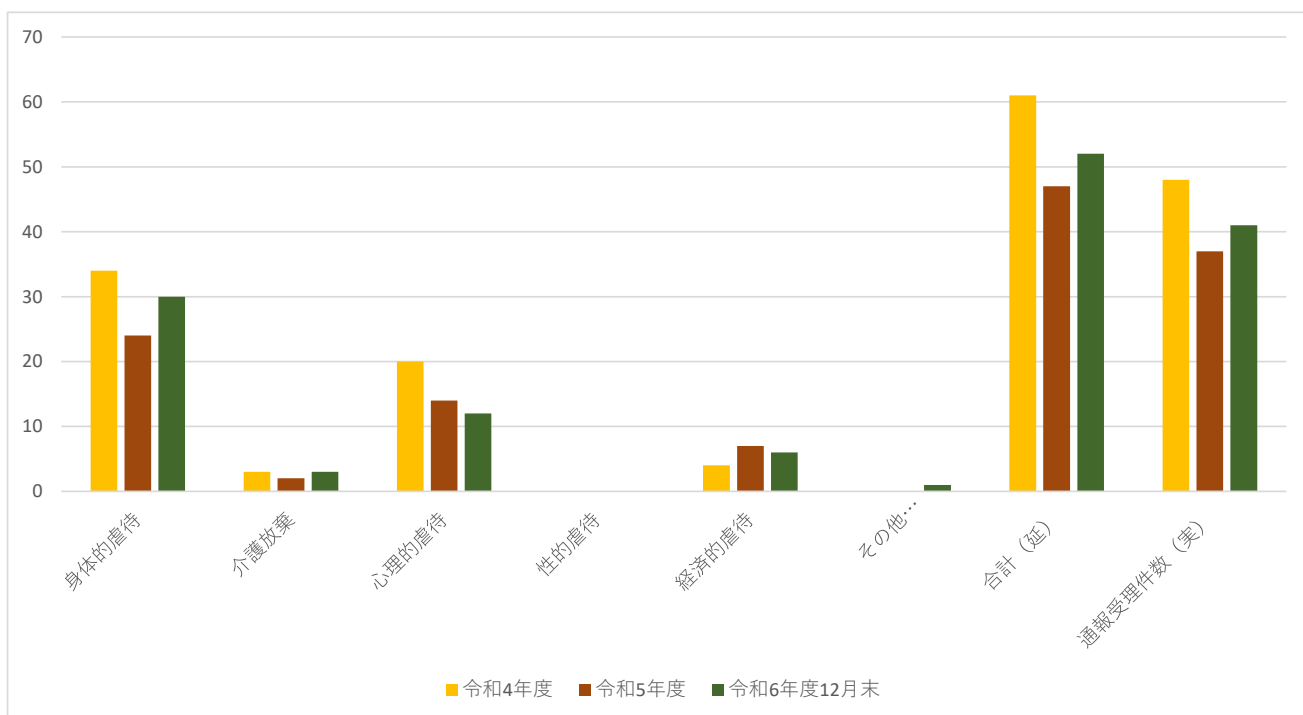
年度 種別	令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
身体的虐待	34	24	30
介護放棄	3	2	3
心理的虐待	20	14	12
性的虐待	0	0	0
経済的虐待	4	7	6
その他 （セルフネグレクト等）	0	0	1
合計（延）	61	47	52
通報受理件数（実）	48	37	41

○通報受理件数1件に対し、複数の虐待種別が重複する場合があるため、虐待種別の合計（延）は、通報受理件数（実）よりも多くなっています。

権利擁護業務



内訳



●ピオラ和泉、貴生会において、成年後見制度の普及啓発活動を積極的に実施している。ピオラ和泉については相談ケースも増加している。
⇒他課と協力して、権利擁護を推進するため、R6.10月より中核機関を社会福祉協議会に委託する形で実施予定。より普及啓発を進めていくとともに、成年後見制度の利用へ繋げていく。

●高齢者虐待の件数については、昨年度に比べ現時点においても多い状況であるが、中身としては、以前から不仲な夫婦がどちらかが65歳になったことから、ケースとして通報になっているケースも多い。その他、高齢夫婦で認知症が影響しているケースも多い。

6. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

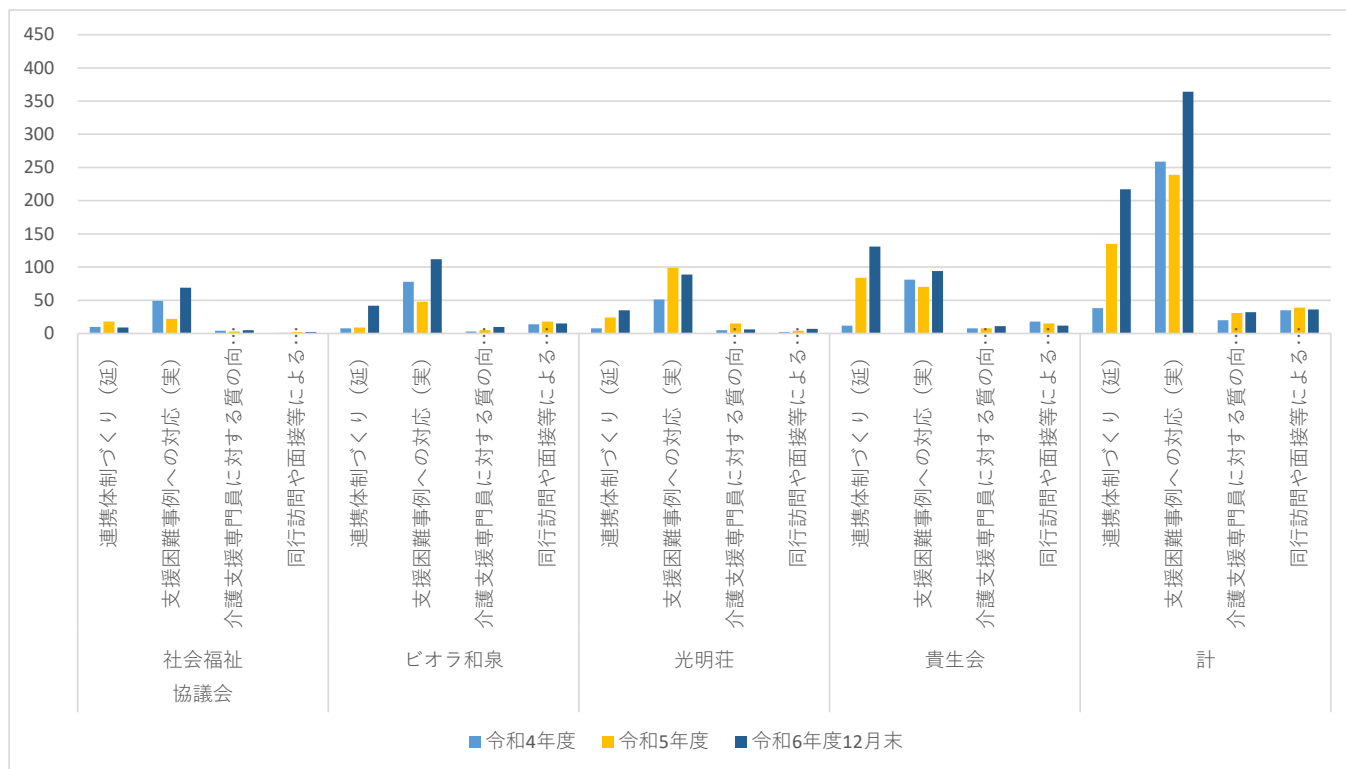
①包括的・継続的ケアマネジメント業務

		令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	連携体制づくり（延）	10 件	18 件	9 件
	支援困難事例への対応（実）	49 件	22 件	69 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	4 件	3 件	5 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	1 件	2 件	2 件
ピオラ和泉	連携体制づくり（延）	8 件	9 件	42 件
	支援困難事例への対応（実）	78 件	48 件	112 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	3 件	5 件	10 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	14 件	18 件	15 件
光明荘	連携体制づくり（延）	8 件	24 件	35 件
	支援困難事例への対応（実）	51 件	99 件	89 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	5 件	15 件	6 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	2 件	4 件	7 件
貴生会	連携体制づくり（延）	12 件	84 件	131 件
	支援困難事例への対応（実）	81 件	70 件	94 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	8 件	8 件	11 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	18 件	15 件	12 件
計	連携体制づくり（延）	38 件	135 件	217 件
	支援困難事例への対応（実）	259 件	239 件	364 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	20 件	31 件	32 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	35 件	39 件	36 件

②地域ケア会議開催件数

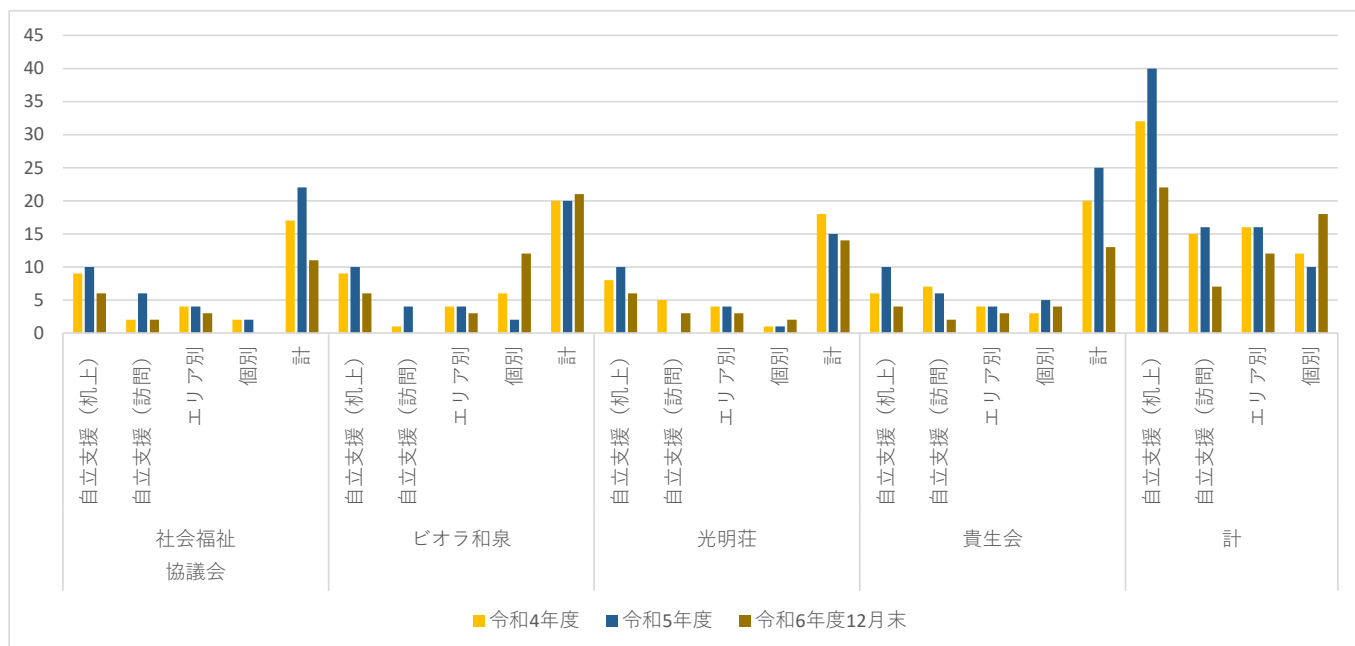
		令和4年度		令和5年度		令和6年度12月末	
社会福祉協議会	自立支援（机上）	9	件	10	件	6	件
	自立支援（訪問）	2	件	6	件	2	件
	エリア別	4	件	4	件	3	件
	個別	2	件	2	件	0	件
	計	17	件	22	件	11	件
ピオラ和泉	自立支援（机上）	9	件	10	件	6	件
	自立支援（訪問）	1	件	4	件	0	件
	エリア別	4	件	4	件	3	件
	個別	6	件	2	件	12	件
	計	20	件	20	件	21	件
光明荘	自立支援（机上）	8	件	10	件	6	件
	自立支援（訪問）	5	件	0	件	3	件
	エリア別	4	件	4	件	3	件
	個別	1	件	1	件	2	件
	計	18	件	15	件	14	件
貴生会	自立支援（机上）	6	件	10	件	4	件
	自立支援（訪問）	7	件	6	件	2	件
	エリア別	4	件	4	件	3	件
	個別	3	件	5	件	4	件
	計	20	件	25	件	13	件
計	自立支援（机上）	32	件	40	件	22	件
	自立支援（訪問）	15	件	16	件	7	件
	エリア別	16	件	16	件	12	件
	個別	12	件	10	件	18	件
	計	75	件	82	件	59	件

①包括的・継続的ケアマネジメント業務



●高齢者の増加に加え、高齢者のニーズが多様化してきており、連携体制づくりは重要度を増してきている。ピオラ和泉・光明荘・貴生会については現時点において大きな増加となっている。
 ●介護予防支援についても、居宅介護支援事業所が直接プランを持つケースも出てきており、連携体制づくりをはじめ、地域へのケアマネへの支援体制の重要度が増している。支援困難事例への対応も現時点において、昨年度を大きく上回っている。

②地域ケア会議開催件数



●地域ケア会議の件数は、総件数としては、横ばい状態となっており、個別地域ケア会議に関しては今年度増加傾向にある。これらの課題を整理し、必要に応じて施策反映できるよう努めていく必要がある。

事業内容の説明

1 地域包括支援センターの職員体制

地域包括支援センターの職員体制については、法律で3職種の配置が義務づけられている。

2 総合相談支援業務

包括の職員が相談を受けた件数。生活支援コーディネーターが受けた相談数も含む。

3 介護予防普及啓発業務

包括が「いきいきすみ体操」を地域に広めた件数。1日講座：包括がおためしで地域に普及する講座

シリーズ講座：事業者が決定するまでは包括が、決定後は事業所が1日講座受講団体対象にいきいきすみ体操活動団体本格立ち上げに向けて全3回で介護予防を啓発する講座。

4 介護予防ケアマネジメント業務

要支援者（事業対象者含む）のケアプランは法律で包括が作成することになっている（委託可能）

給付管理：要支援者の給付管理は包括が行うこととなっている給付費の支払いに関連した一連の業務。

5 権利擁護業務

成年後見制度の活用のサポートや、消費者被害、虐待対応・防止・早期発見などの高齢者の権利を守る活動

6 包括的・継続的ケアマネジメント業務

地域全体の医療・保健・介護分野の専門家から地域住民まで幅広いネットワークをつくるための活動

・自立支援（机上型）：月1回程度定期開催。理学療法士・作業療法士・管理栄養士・歯科衛生士・地域包括支援センター・ケース担当ケアマネジャー等が個別事例を自立支援の視点で検討を行っている地域ケア会議。

・自立支援（訪問型）：随時開催。個別事例について、作業療法士や管理栄養士・歯科衛生士と地域包括支援センター・ケース担当ケアマネジャー等が自宅を訪問し、対象者や家族とともに自立支援の視点で検討を行っている地域ケア会議。

・エリア別：各圏域で年間4回定期開催。地域における課題について、地域包括支援センター・基幹型地域包括支援センター・認知症機能強化型地域包括支援センター・CSW・和泉市社会福祉協議会・市、必要に応じて地域住民や関係機関が参加し検討する地域ケア会議。

・個別地域ケア会議：各圏域毎に随時開催。地域住民の日常生活における困難なことについて、本人・家族・関係機関・自治会など地域の関係者を含め検討する地域ケア会議。

Ⅱ-2. 令和6年度 基幹型地域包括支援センターの活動について（4月～12月）

1. 基幹型地域包括支援センターの職員体制

職種	常勤換算	業務比率	
		本来業務	その他業務
社会福祉士	1人	94 %	6 %

2. 基幹型地域包括支援センターの活動状況

（１）後方支援の具体的取り組みについて

○介護予防普及啓発業務

＜実施内容・結果＞

①和泉市民健康まつり、シニア運動会、光明池まちフェスにて、いきいきいすみ体操の体験会や簡易フレイル検査、体力測定、相談会などを実施。包括の各職種による啓発も同時に行い、幅広い世代の参加者に対し、介護予防や包括の取り組み全般を周知できた。

②啓発の場の情報として、市社協よりいきいきサロンの開催状況一覧と協議の場の状況を入手し、各包括に提供した。

＜事業計画策定に向けて課題＞

コロナ禍以降、大人数が集まるイベントが順次再開されており、包括の各取り組みを周知できる機会は増えている。対象を高齢者だけに絞らず、子世代・孫世代にも届くような内容を考えつつ、他団体との連携を強化しながら普及啓発していきたい。

○介護予防ケアマネジメント業務

＜実施内容・結果＞

①指定介護予防支援事業所の拡大により、包括を介さず直接居宅介護支援事業所と契約できることとなり、契約書や重要事項説明書など四包括統一で使用する様式の改定、指定事業所用のひな型を、市と調整して作成した。

②意欲を引き出すプランのあり方や地域の社会資源活用を委託先の介護支援専門員に伝えるため、包括プランナー・保健師等・主任介護支援専門員とともに、介護予防ケアマネジメント研修を実施した。

＜事業計画策定に向けての課題＞

介護予防支援の流れが変わりつつあるが、「包括の一定の関与」がどこまで求められるかを見定め、ケアマネジメント研修の在り方や情報管理の仕方などを検討中である。

○権利擁護業務

＜実施内容・結果＞

①成年後見制度の利用促進に関し、昨年10月に開所したいすみ成年後見人サポートセンターとの連携が始まっている。現在は基幹包括が運営会議に代表出席し、後見における課題の集約と発信を行っている。

②高齢者虐待においては、各包括から虐待グレーケースの相談を実数3件応じ、適宜対応策を一緒に考えた。虐待事案に関しては、虐待防止法に基づく対応は終結したものの、関係性の悪化で再発するケースや見守り支援で継続することも多く、支援に終わりが見えないため包括だけで抱え込まないよう、他機関や地域の協力を得るよう助言している。

＜事業計画策定に向けての課題＞

成年後見制度の利用促進については、次年度からは各包括が主担当となるため、サポートセンターと包括双方の役割を明確にしながら協働体制を構築していく必要がある。

○包括的・継続的ケアマネジメント業務

＜実施内容・結果＞

①四包括の主任介護支援専門員による法定外研修が行われるにあたり、企画を後方支援した。

②障がい福祉サービスから介護保険サービスへ移行する際の課題共有について、障がい相談機関側と包括側を調整し、スムーズに連携するための勉強会実施を支援した。

＜事業計画策定に向けての課題＞

制度やサービスのタイムリーな情報を介護支援専門員が収集できるようにすることに加え、介護支援専門員の負担軽減は全国的な課題である。カスタマーハラスメントの対応については近年課題となっており、ポスター作製や研修実施につなげたい。

○多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築（地域ケア会議の推進）

＜実施内容・結果＞

①個別地域ケア会議の積極的な開催に向け、事前相談で助言を行い、必要に応じ会議に同席しサポートに入った。

②エリア別地域ケア会議は圏域ごとに年4回ずつ開かれるが、要点を絞った議題提出ができるよう1か月前に各包括と打合せ会議を行っている。当日は参加機関それぞれが情報共有し、できることについて有機的に話し合いが行われている。

＜事業計画策定に向けての課題＞

個別地域ケア会議の積極的な開催に向け、事前相談で助言

(2) 開催会議

主任介護支援専門員関係	基幹ヒアリング	3 回
社会福祉士関係	基幹ヒアリング	3 回
	虐待グレー会議	3 回
	民生委員高齢福祉部会勉強会（高齢者虐待）	1 回
保健師等関係	基幹ヒアリング	3 回
包括全体	包括新任職員向け研修（業務全般について）	3 回
	新任プランナー向け研修（基礎）	2 回
	介護保険制度研修（基礎）	1 回

(3) 会議・研修出席

主任介護支援専門員 関係	和泉市医療と介護の連携推進専門部会	5 回
	主任介護支援専門員連絡会	4 回
	法定外研修	3 回
社会福祉士関係	法律相談（弁護士によるアドバイザリー事業）	1 回
	高齢者虐待防止実務者会議	1 回
	高齢者虐待防止ネットワーク運営会議	4 回
保健師等関係	介護予防活動支援会議	4 回
	介護予防ケアマネジメント研修（企画会議含む）	6 回
包括全体	センター長会議	3 回
	エリア別地域ケア会議前調整会議	3回×4か所
	エリア別地域ケア会議	3回×4か所
	民生児童委員高齢福祉部会	1 回
	認知症市民フォーラム2024	1 回
	第5次和泉市地域福祉基本・活動計画アクションプラン実践報告会	1 回
包括の代表として出席	和泉市医療と介護の連携推進審議会	1 回
	和泉の地域医療を考えるシンポジウム（多職種でつなぐACP）	1 回
	認知症支え愛を考えるまちづくり連絡会	1 回
	生活困窮者自立支援連絡会	0 回
	認知症初期集中支援チーム検討委員会	1 回
	通所型短期集中介護予防事業等に係る事業所選定プロポーザル審査	1 回
	成年後見制度利用促進協議会運営会議	2 回
市関係	市・強化型ミーティング	9 回

(4) 市民への啓発活動

健康まつり	1 回
光明池あんしんすこやかまちフェスタ	1 回
年輪大学院	1 回

(5) 相談受付

相談件数（延）	305 件
相談者： 市内4包括、和泉市（高齢介護室・福祉総務課・くらしサポート課・障がい福祉課・保険年金室・人権男女参画室）、認知症強化型包括、他市包括、広域事業者、和泉保健所、医療介護連携推進コーディネーター、社会福祉協議会地域福祉係、障がい者基幹相談支援センター、いきいきネット相談支援センター、いずみ成年後見人サポートセンター、シルバー人材センター、市立総合医療センター、民生委員児童委員協議会、サービス事業所	
内、総合事業に関連した相談・支援件数	12 件

主な相談内容

- ・包括業務や運営に関する事
- ・法改正、改正に伴う様式変更、国保連への請求、WINCAREソフトに関する事
- ・活動実績報告書（月報）、高齢者福祉サービスの変更に係る事
- ・地域支援、ネットワーク作りに関する事
- ・成年後見制度利用促進に関する事
- ・医介連携、ACP、障介連携（65歳移行）に関する事
- ・生活困窮支援（社会貢献支援制度）に関する事
- ・民生委員児童委員と包括の連携強化に関する事
- ・災害支援、BCPに関する事

Ⅱ-3. 令和6年度認知症機能強化型地域包括支援センターの活動状況（4月～12月）

1. 認知症機能強化型地域包括支援センターの職員体制

職種	業務比率	
	本来業務	その他業務
認知症地域支援推進員	100 %	0 %

2. 認知症に対する正しい知識の普及啓発

(1) サポーター養成講座支援

開催場所	①小学校 ②中学校 ③大学	①企業 ②介護・医療	地域	計	
開催件数（回）	①15 ②1 ③1 計17	①3 ②5 計8	16	41回	学校関係では、目標であった中学校で実施できたのは、校長や地域住民代表等の協力によるところが大きい。小学校は、21校中17校の申し込みで15校が終了した。大学、高校（2月実施予定）は、2年連続開催で、今後も開催が期待できる。また、緑ヶ丘小学校の講座の次の週に、地域の「声かけ見守り訓練」を実施したが、事前に地域と学校をつないで企画した。児童には、オレンジリングをもって地域活動に参加するよう促した。今後も「認知症サポーター養成講座」を起点に、学校や地域、事業や地域活動など実践につないで、地域全体の認知症理解の深化をめざしたい。さらに、広い世代へのアプローチのため、地域住民に加え、企業や事業所との連携を深めていきたい。
参加者（人）	①1,277 ②183 ③95 計1,555	①59 ②92 計151	403	2,109人	

(2) キャラバンメイト支援

班長会（回）	6回	「認知症サポーター養成講座」一般用テキストの変更に伴い、キャラバン・メイト班長会をほぼ毎月開催し、R6年度講座原案を作成した。さらに、その原案を、キャラバン・メイト連絡会（全体会）で意見交換でき、講座内容の周知に加え、ともに作り上げたという連帯感から、4月からの実施がスムーズであった。キャラバン・メイト資格の新たな取得者に加え、他市からの移動もあり、12名が新たに登録され、年度内に1回以上は講師ができるよう支援した。併せ、資格を持っていたが活動していなかったメイトの活躍を支援することもできた。今後もキャラバン・メイト班長を中心としてキャラバン・メイトと連携をとり、内容を充実していく必要がある。課題として、講座の増加に比し、メイトの高齢化や現職での業務との調整、スキルアップの必要性の増加など一部のキャラバン・メイトに負担がかかっている現状もある。今後、ボランティア活動の支援体制を整備し、未来永劫、活動が続けられるしくみを検討していきたい。
連絡会（回）	1回	

3. 市民見守り力の向上

(1) SOS声かけ見守り訓練

緑ヶ丘校区社協主催 声かけ見守り体験会	78 名	「SOSおかえりネットワーク見守り声かけ訓練事業」の実施にあたり、今の時代にあった企画でとの主催者の意見から、昨年度実施校区を方法も取り入れ「声かけ見守り体験会」としてシナリオの追加など新たに企画した。会議を重ねたことで参加者は、体験をすることと備えることの大切さを実感することができたと感じる。今後は、市民にどのように伝えていくか、自治会員の超高齢化や加入者の減少、校区社協の事業の増大等、実施方法の小規模化の検討やイベント式でなく、各自がともに考え、備えることができる企画が求められている。また、今回避難所を想定したシナリオを追加したが、事前にこのように、講座と体験会、防災訓練がつながり、災害時の避難所でのイメージを日常で体験し、住民が共有しておくことで、やっとな実際の災害時に備えることができると考える。
------------------------	------	--

4. 認知症医療介護連携

もの忘れ相談会	7 回	もの忘れ相談会は、予定の5月～11月は全て申し込みがあり、5月を除いて、全ての月に本人の参加があった。本人自らの申し込みが増えている傾向。初期集中支援は6月、8月以外は毎月実施。6月は初期集中検討委員会とサポート医連絡会を実施し、8月はステップアップ講座を開催した。サポート医連絡会では認知症サポーターステップアップ講座の内容を含め検討し、今年度は昨年度と同様2回開催予定である。
初期集中支援	6 回	
その他	3 回	

5. 認知症ケアの質向上

研修・講座等開催	13 回	「包括新人職員研修」「緑ヶ丘地区民児協勉強会」「緑ヶ丘自治会主催SOSおかえりネットワークの説明会」「貴生会主催の法定会研修、初期集中支援の事例から公認心理師の役割」など各包括からの依頼で地域住民はじめサービス事業所を対象に、チームオレンジを前提としつつSOSおかえりネットワーク等への取り組みを話し、アイ・あいロビーからの依頼では、「ボランティアの初級編講座として見守り」を講義した。桃山学院大学「高齢者福祉論」では、4つの地域包括支援センターも参加し、学生に和泉市の高齢者の生活実態と施策を伝え、その他にも、声かけ体験会に先駆けたゼミへの参加や講義を実施した。また、市民フォーラムでは、若年性認知症本人の体験をもととした映画「オレンジランプ」を上映し、アフタートークとして当事者の声を聞いた。さらに、1月の「認知症関連ボランティア等研修」では、「オレンジランプ」のモデルとなった丹野智文氏を招き、桃山学院大学や桃山なごみ会と共同し、当事者の声を届けた。今後も、認知症ケアの質向上は、研修を全体的な視点から集約し、企画をつないで集約し、住民にフィードバックしていきたい。
----------	------	--

6. 本人・家族支援

オレンジカフェ関連	44 回	昨年度に続き、Café るあな、エクウス、友里の3施設がオレンジカフェを開催。また、令和6年度は、貴生会在宅生活サポートセンター、ピオラ和泉つながりカフェ、3丁目カフェ（光明荘）の3施設が再開した。12月には、初めての「まちカフェ」として コミュニティーカフェ和（にこ）が開催された。ふらっとカフェ5月～11月まで合計7回の開催（総参加者数20名、8、10月は参加者0）は、その他に記入している。家族会は、隔月開催のなごみ会（桃大主催）に参加、支援した。
家族会関連	5 回	
その他	7 回	

7. 地域包括支援センターの認知症施策に関する統括業務

R6年1月の認知症基本法の施行は、和泉市においてもいろいろな取り組みの推進力となった。チームオレンジの立ち上げもR6年度の目標40チーム、計70チームは、ほぼ達成予定である。10月に各包括へ認知症地域支援推進員が設置されたことも、地域住民や専門職へのアプローチがよりスムーズになった。また、ステップアップ講座受講者の抽出や声かけもスムーズになっており、今後は、地域住民が集える・活動できる場づくりも含め、認知症パートナーやチームオレンジを継続支援しながら、認知症関連ボランティアやサポート医等との医介連携、地域包括支援センターの認知症地域支援推進員との連携をさらに強化していきたい。

8. 会議出席状況（出席した会議のみ記載を）

包括全体	・エリア別地域ケア会議（第1圏域）0回 ・エリア別地域ケア会議（第2圏域）0回 ・エリア別地域ケア会議（第3圏域）0回 ・エリア別地域ケア会議（第4圏域）1回 ・包括・強化型合同会議 7回 ・包括運営協議会 0回	8 回	※10月～名称下記に変更 認知症地域支援推進連絡会
市	・市／強化型ミーティング	13 回	
その他	・緑ヶ丘個別地域ケア会議 1回 ・SOSネットワーク関係機関会議 13回 ・認知症支援“愛”を考えるまちづくり連絡会 1回	15 回	※SOSネットワーク関連機関会議：内訳 ①緑ヶ丘校区社協の実行委員会は、その事務方会議、協議の場に合わせたので、参加回数は計11回。②光明台南校区の中学校や次年度に向けて住民代表、中学校長、相談機関の参加する会議を1回開催。③警察、消防も参加した市主催のSOSネットワーク会議に参加1回。

9. 関係者からの相談件数

内）対応の件数 （延） ：対応方法別	訪問	電話	会議	他	計
	32 件	76 件	6 件	4 件	118 件

⇒ 相談者

地域包括支援センター	36 件	サービス事業所	6 件	住民組織団体	18 件
社協	6 件	医療機関	6 件	その他	24 件
CSW	1 件	キャラバンメイト	15 件		
居宅介護支援事業所	2 件	カフェボランティア	4 件		

⇒ 相談内容＜内：相談件数（延）＞

サポーター養成	25 件	認知症ケア	11 件	その他	13 件
キャラバンメイト	5 件	認知症カフェ	8 件	計	118 件
医療介護連携	24 件	福祉サービス	0 件		
見守り力	27 件	介護保険関連	5 件		

相談増加は、強化型として、昨年同様地域に向かう機会の増加や講座開催にあたっての相談が、直接住民や住民団体から入っている。また、キッズサポーターなど児童の相談が教諭やアンケート結果などを通じてあり、中、高、大学生への開催にあたり教諭や教授からの事前相談もその他に入っている。また、認知症パートナーからの相談もあり、今後は、キャラバン・メイト、カフェボランティア、認知症パートナーを認知症関連ボランティアとまとめる予定である。これらは、認知症基本法施行に集約された当事者目線の新たな認知症観を地域に投げかけている影響もあると考える。また、医介連携の相談では、包括職員の変更などから、初期集中支援チーム会議の事例相談や、病院地域連携室から入院拒否の認知症対応の相談、もの忘れ相談会から初期集中支援への展開やかかりつけ医への報告など医師への関わり方や、認知症ケアパスの活用相談も入っている。

Ⅱ-4. 令和6年度12月末時点 生活支援コーディネーター事業の活動状況について

各年度3月末現在

1. 地域におけるネットワークの構築

(1) 活動件数

		令和4年度		令和5年度		令和6年度12月末	
社会福祉協議会	協議体の開催・参加	2	件	0	件	2	件
	地域の社会資源の把握	5	件	14	件	15	件
	地域のニーズの把握	3	件	0	件	8	件
	地域への啓発活動	6	件	16	件	25	件
	地域の社会資源の開発	1	件	0	件	6	件
	見守りネットの開発	0	件	4	件	30	件
	生活支援体制整備システムへの登録	/		/		13	件
	その他	13	件	10	件	3	件
	計	30	件	44	件	102	件
ピオラ和泉	協議体の開催・参加	6	件	15	件	13	件
	地域の社会資源の把握	21	件	27	件	13	件
	地域のニーズの把握	4	件	32	件	46	件
	地域への啓発活動	98	件	102	件	99	件
	地域の社会資源の開発	12	件	47	件	80	件
	見守りネットの開発	10	件	29	件	7	件
	生活支援体制整備システムへの登録	/		/		47	件
	その他	34	件	9	件	14	件
	計	185	件	261	件	319	件
光明荘	協議体の開催・参加	8	件	11	件	10	件
	地域の社会資源の把握	2	件	2	件	0	件
	地域のニーズの把握	12	件	19	件	39	件
	地域への啓発活動	20	件	33	件	17	件
	地域の社会資源の開発	2	件	3	件	0	件
	見守りネットの開発	0	件	13	件	11	件
	生活支援体制整備システムへの登録	/		/		2	件
	その他	18	件	16	件	0	件
	計	62	件	97	件	79	件
貴生会	協議体の開催・参加	8	件	5	件	10	件
	地域の社会資源の把握	14	件	14	件	10	件
	地域のニーズの把握	18	件	6	件	5	件
	地域への啓発活動	40	件	54	件	34	件
	地域の社会資源の開発	5	件	3	件	0	件
	見守りネットの開発	40	件	0	件	15	件
	生活支援体制整備システムへの登録	/		/		2	件
	その他	8	件	56	件	52	件
	計	133	件	138	件	128	件
計	協議体の開催・参加	24	件	31	件	35	件
	地域の社会資源の把握	42	件	57	件	38	件
	地域のニーズの把握	37	件	57	件	98	件
	地域への啓発活動	164	件	205	件	175	件
	地域の社会資源の開発	20	件	53	件	86	件
	見守りネットの開発	50	件	46	件	63	件
	生活支援体制整備システムへの登録	/		/		64	件
	その他	73	件	91	件	69	件
	計	410	件	540	件	628	件

生活支援コーディネーター：

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援および介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者として、各包括に1名配置。

おたがいさまサポーター事業：

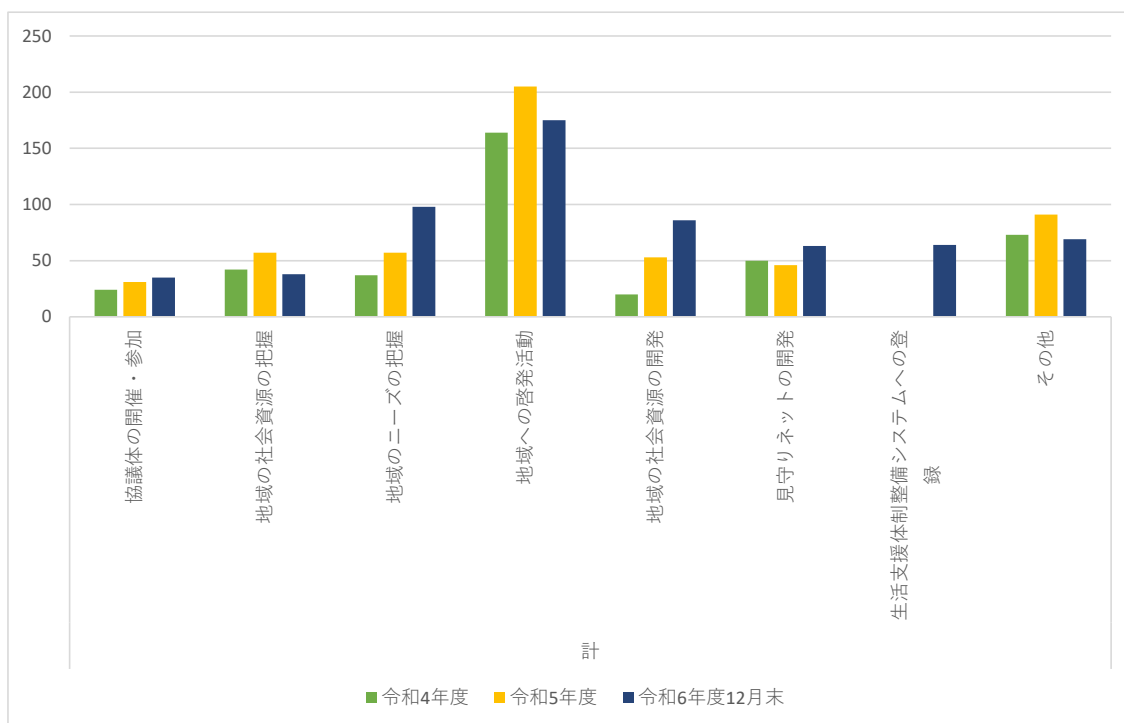
高齢者のちょっとした困りごとを解決するため、住民ボランティアを養成し、見守りを兼ねた支援を実施。

見守りネット：

民間企業等に登録してもらい、仕事中に発見した気になる高齢者を地域包括支援センター等へ繋ぐ制度。

生活支援体制整備システム：

地域資源をシステムに入力し、マップ上に地域資源の見える化を行っている。地域の現状を把握し、今後の地域づくりに活用していく。



- 高齢化が進んでいる中、地域での支え合いができる地域づくりが求められている。
- 今年度は生活支援体制整備システムの登録を行い、それを活用して、関係者らで地域診断を実施。地域課題を関係者間で共有することで、今後の地域づくりに役立てていく。
- 地域資源の開発件数も増加しており、共助による地域づくりがより進めることができている。

(2) 構築件数

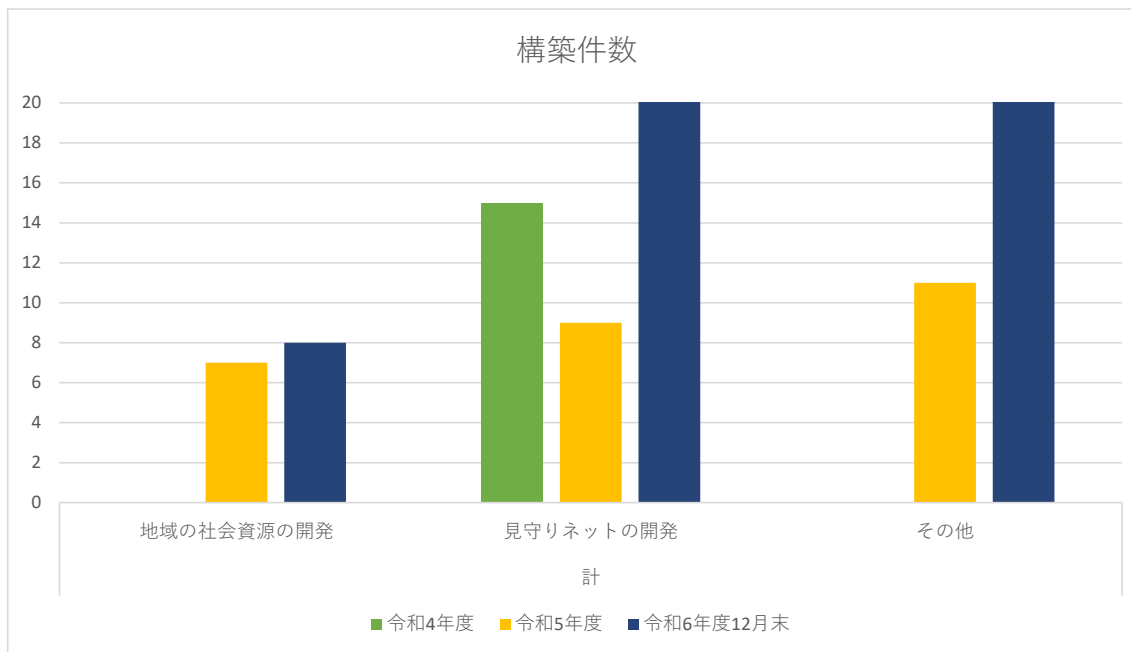
		令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	地域の社会資源の開発	0 件	0 件	0 件
	見守りネットの開発	0 件	0 件	2 件
	その他	0 件	1 件	0 件
ピオラ和泉	地域の社会資源の開発	0 件	3 件	8 件
	見守りネットの開発	2 件	7 件	11 件
	その他	0 件	0 件	26 件
光明荘	地域の社会資源の開発	0 件	3 件	0 件
	見守りネットの開発	0 件	1 件	20 件
	その他	0 件	0 件	0 件
貴生会	地域の社会資源の開発	0 件	1 件	0 件
	見守りネットの開発	13 件	1 件	1 件
	その他	0 件	10 件	2 件
計	地域の社会資源の開発	0 件	7 件	8 件
	見守りネットの開発	15 件	9 件	34 件
	その他	0 件	11 件	28 件

(3) サポーター登録件数

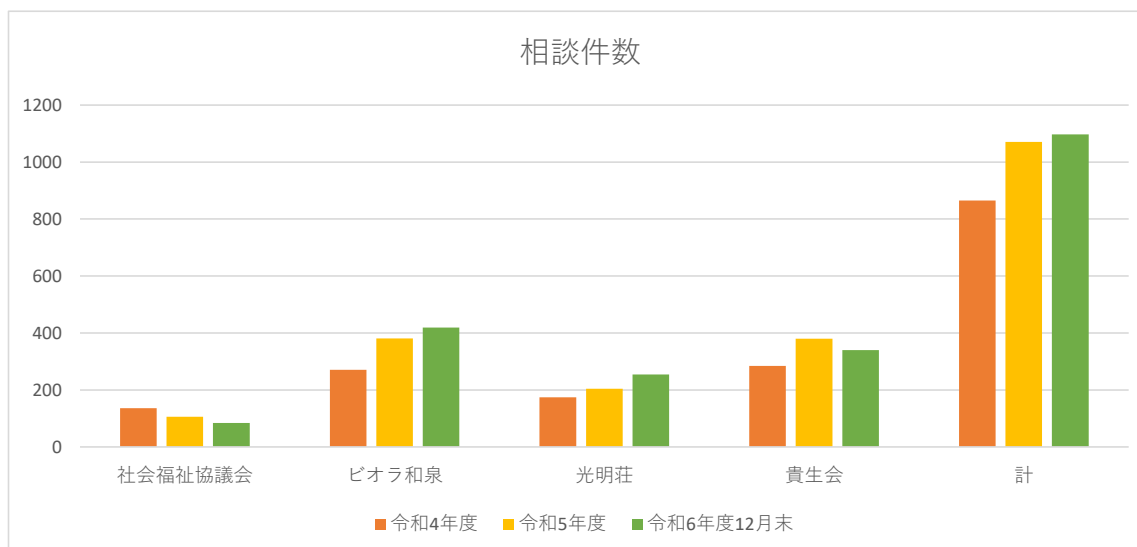
	令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	0 人	0 人	4 人
ピオラ和泉	16 人	10 人	8 人
光明荘	4 人	9 人	6 人
貴生会	21 人	25 人	16 人
計	41 人	44 人	34 人

2. 地域における相談等への対応 (相談件数：延)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	136 件	106 件	84 件
ピオラ和泉	271 件	381 件	419 件
光明荘	174 件	204 件	254 件
貴生会	284 件	380 件	340 件
計	865 件	1,071 件	1,097 件



●地域資源の開発に向けた活動に多く取り組んでおり、いきいきすみ体操の新規団体立ち上げ、移動スーパーの招致など、地域資源の構築を行うことができている。引き続き、協議体をはじめとして、地域との協議を重ねながら、情報共有や地域づくりに取り組んでいくことが求められている。



●相談件数が全体的に伸びており、地域活動や地域づくりに地域包括支援センターの役割が増している。

3. おたがいさまサポーターの活動実績

(1) サポーター研修・マッチング件数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	地域出張型（個別）研修	6 件	3 件	5 件
	おたがいさまサポーターの案内、マッチング件数	7 人	2 人	3 人
ビオラ和泉	地域出張型（個別）研修	5 件	3 件	0 件
	おたがいさまサポーターの案内、マッチング件数	13 人	1 人	35 人
光明荘	地域出張型（個別）研修	3 件	3 件	5 件
	おたがいさまサポーターの案内、マッチング件数	7 人	3 人	15 人
貴生会	地域出張型（個別）研修	9 件	3 件	7 件
	おたがいさまサポーターの案内、マッチング件数	12 人	8 人	25 人
計	地域出張型（個別）研修	23 件	12 件	17 件
	おたがいさまサポーターの案内、マッチング件数	39 人	14 人	78 人

(2) 登録者数・活動者数

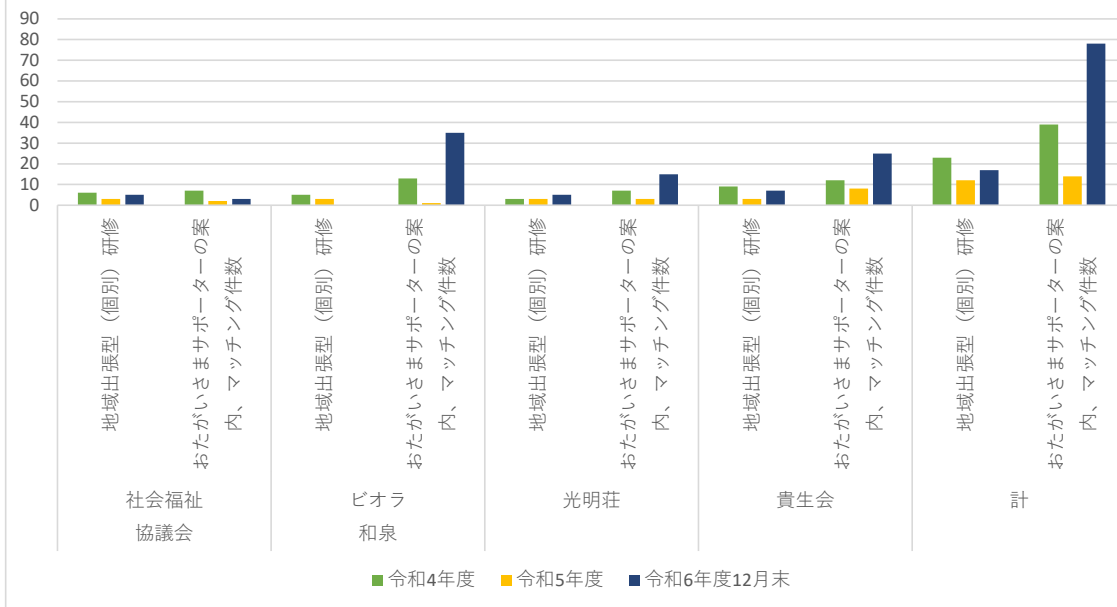
		令和4年度	令和5年度	令和6年度12月末
社会福祉協議会	登録者数	43 人	36 人	42 人
	利用者数	14 人	9 人	8 人
	サポーター活動者数	15 人	10 人	10 人
ビオラ和泉	登録者数	65 人	78 人	70 人
	利用者数	16 人	15 人	11 人
	サポーター活動者数	21 人	14 人	14 人
光明荘	登録者数	78 人	82 人	92 人
	利用者数	10 人	8 人	12 人
	サポーター活動者数	14 人	8 人	14 人
貴生会	登録者数	136 人	158 人	48 人
	利用者数	14 人	26 人	19 人
	サポーター活動者数	22 人	15 人	31 人
計	登録者数	322 人	354 人	252 人
	利用者数	54 人	58 人	50 人
	サポーター活動者数	72 人	47 人	69 人

(3) 活動の内訳

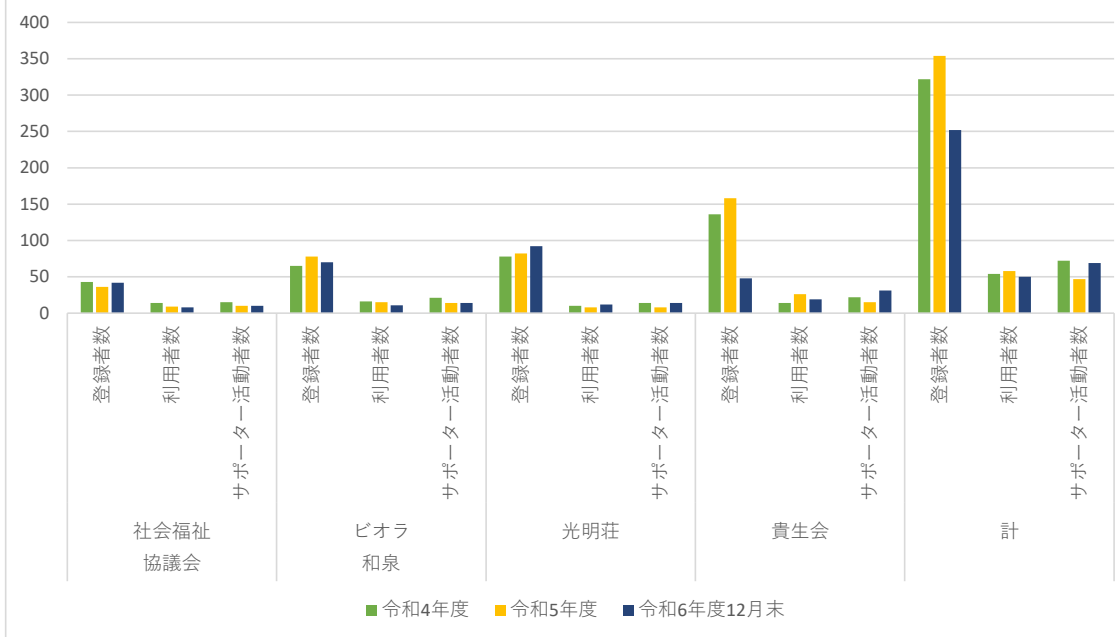
(単位：件)

	ごみ出し	お出かけ応援	買い物代行	図書館	家庭菜園	あったか訪問	合計
社会福祉協議会	3	1	1	1	2	2	10
ビオラ和泉	8	2	2	2	3	3	20
光明荘	2	1	2	0	1	4	10
貴生会	11	2	3	0	1	18	35
計	24	6	8	3	7	27	75

サポーター研修・マッチング件数



登録者数・活動者数



- 年度当初に今後の意向確認を実施し、今後の活動が難しいとの回答から多くの登録者数が減少となった。
- 活動件数も伸び悩んでおり、おたがいさまサポーター事業の周知に加え、制度の見直しを含め検討していく。